

令和 7 年度 施策評価表

施策	0305	ミライ o n の充実	施策担当部	教育委員会	部長	川下 隆治
			施策担当課	図書館	課長	福田 裕健
施策の方針	生涯学習施設としての図書館、歴史資料館の機能を充実させるとともに、市民の知識や知恵を育み、学びや暮らしを支える「知の拠点」、様々な市民がふれあう「出逢いの広場」となるような運営に取り組む。					
関連するSDGsのゴール	  					

【DO（実施）】

後期基本計画（令和3年度～令和7年度）における数値目標

指標名	単位	基準値 (R1)	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R6年度	
			R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	達成率	進捗率
① 市民一人当たりの貸出冊数	冊/年	6.1	6.5 7.5	7.0 6.9	8.0 6.8	9.0 6.6	9.0	72.8%	72.8%
② 来館者数	人/年	264,211	600,000 374,294	600,000 365,798	600,000 378,853	600,000 383,922	600,000	64.0%	64.0%
③ 多目的ホール等の利用人数	人/年	1,442	6,000 3,728	7,000 6,489	8,000 7,970	9,000 7,934	10,000	88.2%	79.3%
④ 大村市歴史資料館の入館者数	人/年	30,305	50,000 29,157	35,000 27,771	40,000 29,165	45,000 27,719	50,000	61.6%	55.4%
⑤									

施策達成状況の説明

令和6年度は、感染症対策として、カウンター・机などの定期消毒、空調設備の適切な運転による換気などを継続し、市民が安心して来館できる施設運営を実施した。  
 来館者数は約38万4千人（開館日数283日）で1日当たりの来館者数は1,357人（前年度比32人増）であったが、多目的ホール等の利用人数は7,934人（前年度比36人減）となり前年度より減少した。また、年間貸出冊数は約72万6千冊で市民一人当たりの年間貸出冊数は6.55冊（前年度比0.21ポイント減）となり前年度より減少した。  
 歴史資料館は、8月などを除き多くの月で前年度の入館者を下回り、1,446人の減となった。

施策経費

(単位:千円)		R6年度 決算	R7年度 予算	R8年度 見込	特記事項
内訳	事業費	267,039	297,115	321,231	
	国庫支出金	350	350	10,310	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	92,055	98,729	110,026	
	一般財源	174,634	198,036	200,895	
	人件費	92,315	96,163	—	
	フルコスト	359,354	393,278	—	

施策の概要（細施策）

030501	「知の拠点」としての運営	市民の知識や知恵を育み、学びや暮らしを支える「知の拠点」として、充実した図書資料、高度なレファレンス（課題解決支援サービス）を提供する図書館、郷土の歴史に触れ、貴重な歴史遺産を後世に伝える歴史資料館を運営します。
030502	「出逢いの広場」としての運営	県内外から多くの方が来館し、様々な人々がふれあう「出逢いの広場」として、歴史資料館での企画展示や特別展示、多目的ホールなどミライ o n の空間を利用した多種多様なイベント・講座等を開催します。
030503	読書活動の推進	読み聞かせのイベント、「としよかん出前講座」、様々なテーマでの図書資料展示などを実施し、図書や読書との新しい出逢いを創出することで、人々の読書活動を推進します。
【再掲】 030104	歴史資料館の充実	郷土の歴史に触れ、貴重な歴史遺産を後世に伝える施設として、歴史資料館における保存、展示、教育普及などの活動の充実を図ります。

【CHECK (評価) 施策担当部長】

施策を達成する上での問題点・課題

来館者が安心して訪れることができる快適で安全な施設環境を提供しなければならない。

【ACTION (改善・改革)】

上記の問題点・課題を踏まえた事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方

新たに営業を開始したカフェスペースを含め、来館者が安心して訪れることができ、快適に過ごすことができる施設環境の提供を継続する。

令和8年度新規事業

	事業名	担当課	令和8年度見込	対象・事業概要など
			事業費 (千円)	
1				
2				
3				
4				
5				
			0	